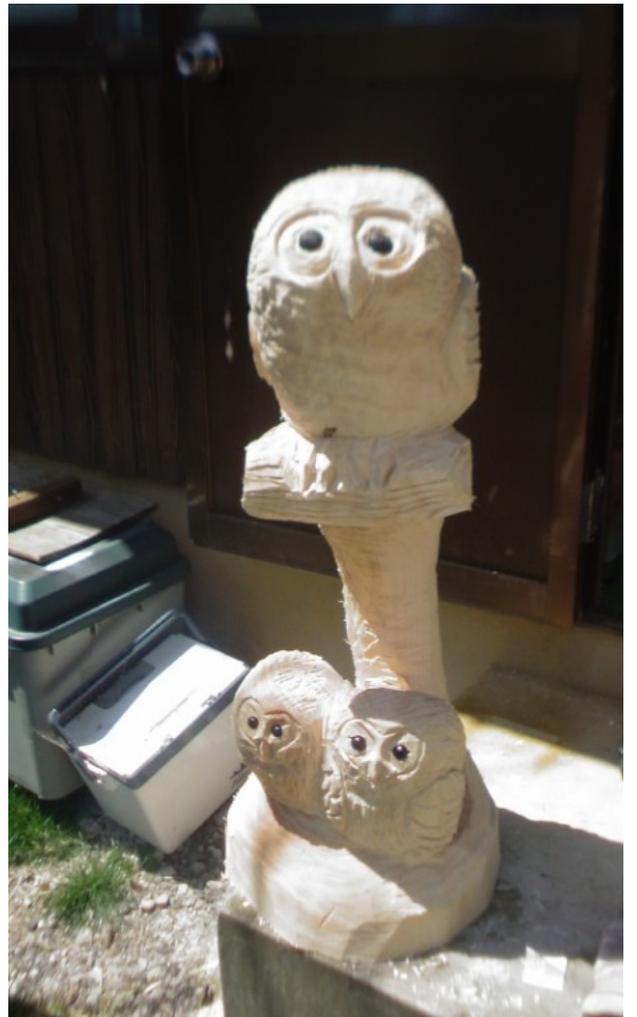


もりふれ倶楽部通信 NO. 27



もりふれ倶楽部会員 稲岡英治氏のチェーンソーカービング作品

例年より7～10日遅れでどうやら梅雨入りしたようです。しかし天候の異常と思われる現象は相変わらずです。先日は6月の前半で30の真夏日を経験し、その前5月の末頃には最高気温15の寒さにふるえました。これも温暖化のなせる業なのでしょうか。

まもなく五節句の一つ七夕がやってきます。竹を立て、五色の短冊に字や詩歌を書いて枝葉に飾り、習い事の上達を祈る、奈良時代宮中で行われた中国から伝来した行事です。江戸時代には七夕祭りとして民間にも普及し今日に至っています。ところでなぜ祈りが竹と結びついたのでしょうか。トンドさんの竹やぐら、正月の門松も竹が中心です。

暖温帯地区に住まいする人々にとって、弥生の古代から身近に群生するマダケ、ハチク、中国から渡来したモウソウチクなどの竹は、生活文化に深く関わってさまざまに利用されました。

地下茎で無性的に四方八方に広がって群れをつくり、また筍が3～4ヶ月であっという間に親竹に伸長成長する様子。形成層がないので肥大成長はないが、中空の棹で弾力性に富み、縦に簡単に割れて細工がしやすく、光沢のある皮の部分の細胞壁にはケイ酸質を多く含み腐敗に強く、柱等の建築材、食器類、ざる等のかご類をはじめとするさまざまな日常生活用品に加工して利用できる優れたもの。その幅広い利便性と強力な生命力に古代人が畏敬の念、神仏の存在を重ね合わせたことは十分にうなずけることです。

天国に住まいされる神様は人々の願いにより下界に下降されるに際しては、眼光鋭く稲光を発し雷鳴をとどろかせて飛翔する青龍にまたがり暗雲を切り裂いて降臨され、ご用が終われば昇天されます。その際、避雷針のごとく雷光を受け止め誘導する先の尖った竹笹を四隅に立て注連縄で飾って神聖域を造る。こんな素晴らしい発想をおこなった人々って、一体どんな脳構造を持った集団だったのでしょうか。

また、竹棹を燃やすとまるで落雷のごとく激しく破裂音を鳴らします。中国では正月をはじめ各節句には爆竹を激しく鳴らしてお祝いをするようです。爆裂音が神の降臨あるいは昇天を促す合図なのかもしれません。そう言えば、陸上競技等での出発、開始の合図も爆発音です。

トンドさんの竹やぐらは爆音を激しく鳴らして、また勢いよく燃え上がって火の粉を空に吹き上げ、神霊の宿ったお札等から神を天に帰す。あわせて、習い事の上達を神にお願いするために、できるだけ空高く舞い上がらせるための操作であるようです。

また、中央集権化を目指しての激しい中世の戦乱の時代、動の中に静を求めて発達した茶道の文化はわび・さびの精神性を尊び、竹に質実剛健の精神を重ね合わせ、千利休から豊臣秀吉、徳川家康へ、さらに松平不昧へ・・・と近世に伝承されるなかで、竹工芸の芸術性を最高のものに発展させたように思います。

なんにしても、日本人の精神文化は竹なくしては語れない密接な関わりを持っていると思われれます。各地に広がる手入れ無く放置され荒れ果てた竹藪を、緑化推進の一事業として、ぜひ整備された竹林に再生し、日本人の心の文化の一端を学び、さらにその発展にかかわりを持っていただきたいと切に願うところではあります。

森ふれ倶楽部が実施する竹細工・竹工芸教室、竹炭・花炭教室、その他竹に関わる行事にぜひ多数の会員の皆様にも参加いただき、竹の利用には祈りをはじめ日本人の精神性の根源に関わる文化が関係していることを感じていただきたいと思います。

田舎暮らしのススメ ～ なつかしの国 石見 から ～

邑智郡川本町在住 福代美保

レポート 18

3年目の田植え

川本町三原の「なかごく楽農一家」のみなさんの指導による田植えを今年も開催することができました。参加者は常連のみなさんと新規加入の浜田市からこられたOさん一家と、福岡からインターンされたKさん親子。さすがに3年目となると作業も手慣れて手植えでもあっという間に進みました。冷たい水の感触を楽しむ余裕もあります。

子供達は、田圃の生き物を捕まえてお持ち帰り。Oさんの子供さんは、ファールみたい。作業の後は、心地良い疲れを感じつつ、美味しい田舎料理の食卓を囲んで歓談。秋の稲刈りでの再会を約束したのです。



レポート 19

えごまの料理会

4月から毎月1回開催している「えごまの料理会」が好評です。定員を15人としていますが、毎回、満員御礼。食べ方が判りにくいと云われる「えごま」ですが、粒、油、葉を利用した料理を食べてもらっています。食べるだけでなく、簡単な料理体験もあります。「えごま豆腐」をフライパンで作ってもらう体験も大好評。

生産者の方々も、この会を通じて、説明が上手になられ自信も高まってきているようです。

この会で好評だった料理を商品にしようと、商品開発も密かに行っていて、次の展開も楽しみです。

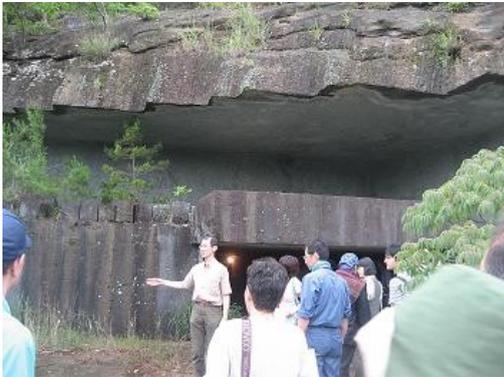


レポート 20

探検！温泉津の福光石石切場

隣町の大田市温泉津町は、福光石という特産の石の産地です。江戸時代から続く石切場は、巨大な洞窟のようになっていています。この場所を観光資源に活用しようと地元の方々が、お試し見学会を開催されました。巨大な空間や、水たまりがミステリアスな雰囲気。映画の舞台になりそうなところもあります。

これから、地元の人がこの場所をどのように活用されるか楽しみです。



レポート 21

田舎の早朝

私が、川本から浜田まで毎日、1時間を掛けて通勤していることに驚く人がいますが、早朝の清々しい空気の中で迎える朝の気持ち良さは格別です。

美しい田園風景を見るとストレスも吹き飛びます。

梅雨明け前の大雨で、田植えした田圃がどうなっているか、心配されていましたが、田圃の稲はスクスクと成長していました。

秋の稲刈りまで、先はまだ長いですが、生産者と消費者を繋ぐ方法を考えていきたいです。



平成22年度 もりふれ倶楽部の歩み

4月24日(土) 第1回里山ものづくり体験

学習展示館来館者を対象に「里山ものづくり体験～木の枝工作」としてサクラの枝でフォトスタンド作りを実施しました。 指導 中村正志



4月24日(土) 島根県労働金庫職員研修対応

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県労働金庫職員の皆様に対して、サクラ等の枝を使ってミニチュアチェアづくりの指導と、もりふれ倶楽部の 森林環境保全への普及啓発活動を中心とした取り組みの紹介をさせていただきました。

指導 中村正志、野田真幹

4月25日(日) 第1回親子のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回親子のための自然観察会を開催しました。公園の中は春の花でいっぱいでした。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しました。ご覧下さい。 指導 中村正志

4月29日(木) 2010 森の誕生日

島根県・宍道湖西岸森と自然財団・島根県緑化推進委員会と協同主催「森の誕生日2010」を開催しました。朝の雨・終日の強風にもかかわらず、約4千人が来場し、ステージを含め、森の大切さをPRする様々なイベントが行われました。スタッフ 寺本哲夫、福岡茂明、松本尚子、響繁則、榎原道夫、福島秀子、宮崎照、宮崎詠二、竹田正彦、伊原千里、狩野正二、安達宏史、谷口枝里子、玉木麗子、野田真幹、宮崎徳子



5月1日(土) もりふれ倶楽部通常総会

総会に先立ち、「出雲とスギとマツ」というテーマで、佐藤仁志氏に講演をしていただきました。総会では、佐藤仁志氏が新理事に選任されました。

5月2日(日) 森林ボランティア(飯南町)

「1日限りの作業班シリーズ」として、セラピーの森の間伐木の後始末、間伐の後に生えてきた実生苗のうち、今後残して、育てて行くものの選別を行いました。

メンバー 榎原道夫、中村正志、岡田邦博、竹田正彦、谷口枝里子、野田真幹

5月7日(金) 緑の募金公募事業

(株)国土防災技術緑環境事業部部長の田中賢治氏を指導者に招き、



奥出雲町立阿井小学校の5,6年生約30名と一緒に、昨年採集した地元の草の種を、ながいこと間伐されず真っ暗だった林地に、間伐後まきました。田中氏には、鳥を含めた自然環境と間伐、森林土壌に関して、わかりやすく解説もしていただきました。

指導 田中賢治 スタッフ 瀨織裕美、響繁則、野田真幹



5月8日(土)奥出雲町阿井小学校対応

奥出雲町立阿井小学校全校生徒約80名に対して、森林保全の大切さを伝える紙芝居「みーもくんの冒険」の上演と木切れ工作体験の指導を行いました。生徒は1~6年生混成4チームに分かれ、それぞれ、鳥根県森林インストラクター等の指導により、動物等を作成しました。

指導 妹尾明美、野田あや子、野田真幹、宮崎徳子

5月16日(日)第1回里山自然塾

~新緑の草木でコケ玉をつくらう~

午前、新緑の園内を散策しつつ、中村正志氏の解説により、様々な植物について学びました。午後は、園内で採取した植物の実生苗を、講師の伊原千里氏の指導で、コケ玉にいけました。また、里山に自生し、その薬効が最近注目されているアカメガシワのお茶も試飲しました。



講師 中村正志、伊原千里 ボランティア 小玉元子

5月29日(土)第1回大人のための自然観察会



「第1回大人のための自然観察会」(15歳以下参加自粛)を開催しました。参加者には、新緑の園内で、自然との多彩な出会いを体験され、「心の底から、リフレッシュできた。」等の感想がありました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

5月29日(土)第2回里山ものづくり体験

学習展示館来館者を対象に「里山ものづくり体験~木切れで動物を作ろう!」として木切れを使って創造の動物づくりを実施しました。

指導 木村京子、宮崎徳子



5月30日(日)森林ボランティア(飯南町)



飯南町下島島の「セラピーの森」において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、間伐・間伐後次世代として残す木のマーキング・チップパーによる枝等の粉碎等の作業を行いました。今回は、NPO法人里山バイオマスネットワークのメンバーと協働で実施しました。メンバー 岡田邦博、竹田正彦、吉川英雄、野田真幹、NPO法人里山バイオマスネットワーク

6月6日(日)第3回里山ものづくり体験

学習展示館来館者を対象に「里山ものづくり体験~ヒノキで和紙をつくらう!」として木から紙が出来る工程を楽しんでいただきました。指導 野田真幹



6月7日(月)中国銀川市職員視察研修対応

松江市を通して訪れた、中国銀川市の教育関係者3名に対して、通訳の方と事前に予行練習をした上で、1日かけて、もりふれ倶楽部の森林環境保全への普及啓発活動を中心とした取り組みを紹介させていただきました。その中で、普及啓発の手段として、ヒノキの和紙づくり体験とネイチャートレイリング体験を実際に経験していただきました。また、学習展示館の個々の展示にも大変興味を示され、通訳を通して、1つ1つ解説しました。

対応 中村正志、野田真幹、宮崎徳子



6月7日(月)奥出雲町阿井公民館対応

奥出雲町阿井公民館からの要請で、小学生29人を対象に、「フクロウのキーホルダー」づくりの指導を行いました。

指導 竹田正彦



6月8日(火)みーもスクール(松江地域)

松江市母衣小学校6年生約80名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と、間伐材を使った「フクロウのキーホルダー」づくりの指導を行いました。また、みーもくんも登場し、子どもたちは大喜びでした。

指導 竹田正彦、中村正志、野田真幹



6月12日(土)安来市立布部小学校学校林整備

「1日限りの作業班」活動として、安来市立布部小学校の学校林整備活動を行いました。今回は、遊歩道整備が中心となりました。

メンバー 竹田正彦、藤田健一、野田真幹

6月13日(日)松江市総合運動公園自然観察会

松江市と共同主催で、松江市総合運動公園において、自然観察会を開催しました。21名の参加者に対して、島根県森林インストラクター等6名の案内で、樹木を中心に、自然的・文化的に解説、五感を活かして植物にふれあってもらったりしながら、身近な公園の木々に親しみを持っていただきました。

スタッフ 福岡茂明、廣江百合子、洲濱寿晴、野口朱美、南波徹、高橋光二、国井加代子、野崎研、大嶋辰也、野田真幹



6月14日(月)雲南市立西小学校対応

島根県東部農林振興センター雲南林業普及グループと協働で、雲南市立西小学校の4年生、約25名に対して、樹木学習の指導を行いました。子どもたちは、あらかじめ学校林(岩熊の森)に、それぞれ自分の木を決めていましたので、これらの木々を中心に樹木の解説を展開しました。

指導 中村正志、響繁則、野田真幹



6月19日(土)第2回親子のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回親子のための自然観察会を開催しました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しました。

指導 中村正志

6月20日(日)第2回里山自然塾

～竹を楽しむ その1～

島根県からの委託事業「第2回里山自然塾～竹を楽しむその1」を開催しました。21名の参加者は、里山の竹問題についての話を聞いた後、竹筒で炊き込みご飯、竹の鍋でオムレツを作り、自分で作った竹皿や箸を使って試食しました。午後からは、竹の灯明づくりにチャレンジしました。

講師 中村正志、野田真幹 ボランティア 木村京子



6月22日(火)安来市立布部小学校対応



安来市立布部小学校学校林にて、3,4年生8人に対して樹木学習の指導を行いました。

指導 中村正志、野田真幹 ボランティア 野田あや子

6月26日(土)～27日(日)島根県森林インストラクター養成講座

島根県の委託事業、第7回島根県森林インストラクター養成講座(春)を実施しました。47人の受講生は、認定を目指して1つ1つの研修に真剣に取り組みました。

メイン講師 佐藤仁志、サブ講師 中村正志、野田真幹



北海道、富良野自然塾に塾長で脚本家の倉本聰氏の発案による「地球の道」があります。これは、40数億年前の地球誕生から、現在までの様子を歩きながらたどる道です。最後に、人類が誕生し、地球は、ほんのわずかの間でゴミだらけとなります。その向こうに、「地球は子孫から借りているもの」と書かれた石碑がぼつんと立って、地球の道は終点となります。もりふれ倶楽部の歩みは、小さくとも、この言葉を大切にしたいと思えます。

もりふれ倶楽部今後のイベント開催予定

9月4日(土) 9時～16時 「森の健康診断」リーダー研修

参加者募集中：参加費500円 全国的に展開されている「森の健康診断」が島根県でも10月16日(土)飯南町でスタートします。それに先立ち、リーダー養成を行います。定員15名(基本的に10月16日(土)に参加可能な方)

場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内。

講師：丹羽健司(にわ・けんじ) 「足助きこり塾」「矢森協」「伊勢・三河湾流域ネットワーク」創設にかかわる。現在、矢作川森林の健康診断実行委員会代表、土岐川・庄内川源流森の健康診断実行委員会世話人、矢作川水系森林ボランティア協議会代表。主な著書『森の健康診断』(編著、築地書館)

9月12日(日) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第3回大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。(16歳以上のみ参加できます。)

会員ボランティア募集中：6時30分～9時30分～若干の交通費補助支給。要事前申込。

9月19日(日) 10時～15時 里山自然塾「竹を楽しむその2」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

竹について学び、竹材の良さをいかして昆虫づくりをします。また、竹を使ってバームクーヘンを作り試食します。持ち物～弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

9月26日(日) 10時～12時 樹木医による樹木診断研修

参加者募集中：松江市総合運動公園 9時50分中央広場モニュメント前集合です。

公園内を散策して樹木診断法や樹勢回復方法について学びます。

前日正午までに、事前申し込みが必要です。雨天時は、傘等雨具を持参ください。参加無料です。

9月26日(日) 13時～16時 樹木医養成講座

参加者募集中：松江市総合運動公園 陸上競技場役員室で行います。

日本樹木医会島根県支部の会員が講師となり、座学にて各種の情報や技術の紹介を行います。

菌根菌を活用したマツの樹勢回復技術、樹木医受験対策などの講座を予定しています。

前日正午までに、事前申し込みが必要です。定員20名

10月3日(日) 10時～15時 飯南町下来島セラピーの森下刈交流会

森林ボランティア 公募イベント：下刈・野外料理(ピザ等)・自然観察会・ネイチャーゲーム

参加者募集中：参加費500円 小学生から大人まで参加OKです。各自のペースで、森林ボランティア活動をして、薪で焼いたピザを食べ、自然観察やネイチャーゲームを楽しみます。

スタッフ募集中：会員の方で当日のスタッフをやっていただける方募集します。9時現地集合、16時解散です。昼食と若干の交通費補助を支給させていただきます。

10月9日(土)9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第4回 親子のための自然観察会(自然とふれあう子どもを撮ろう！)

大人も参加できますが、あくまでも、子どもを対象とした自然観察会です。

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め、前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中：9時～12時～若干の交通費補助支給
事前申し込み必要。

10月10日(日)10時～15時 里山自然塾「秋の里山でキノコを探そう！」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

里山に発生するキノコについて、その見分け方、特徴等を学び、専門家の鑑定の後、試食します。持ち物～弁当・飲み物 定員30名(申し込み順)

10月11日(月)10時～15時 奥出雲町上阿井「森の成人式」

森林ボランティア 公募イベント：宍道湖・中海ラムサール条約登録を記念して、上下流の住民80名が、水源地の伐採跡地に植樹した広葉樹300本が、5年目を迎え、最後の下刈りに取り組むとともに、これを記念し「森林の大切さ」を再確認するイベントを開催します。県庁前8時発
ふるさと森林公園8時45分発 奥出雲町現地9時50分着とバスで向い、地元参加者と一緒に最後の下刈りに取り組んだ後、地元の集会所または、公民館で、地元産の田舎料理を食べ、スライドで5年間の取り組みを振り返り、水源地の森林保全の大切さについてあらためて考えます。
帰路 現地15時発 ふるさと森林公園16時15分発 県庁前17時着

参加者募集中：参加費無料 定員30名 小学生から大人まで参加OKです。バスの乗車地をお知らせの上、事前にお申込みください。直接、現地へ行かれる方は、その旨お伝えください。

スタッフ募集中：会員の方で当日のスタッフをやっていただける方募集します。9時現地集合、16時解散です。昼食と若干の交通費補助を支給させていただきます。

10月16日(土)9時～17時 島根県ではじめての「森の健康診断」飯南町

森林ボランティア公募イベント：約8名の班をつくり、午前、午後それぞれ1カ所の森林(約2^{キロ}メッシュの交点)で健康診断をします。森の健康診断とは、簡単な道具を使ってスギやヒノキの混み具合、植物の葉が地面を覆っている割合、植物の種類・数、落ち葉や土壌の厚さなどを百円グッズを使って計測・観察します。調査結果は研究者が分析し公表します。

(HP「森の健康診断」で検索してください。詳しい情報があります。)

参加者募集中：集合 飯南町来島公民館 参加費500円 定員80名

10月17日(日)9時30分~12時(予定)環境NPO集まれ! 飯南町県民の森
もりふれ倶楽部をはじめ、環境NPOが集まり、活動報告やディスカッションを行います。

参加者募集中 参加無料

10月17日(日)16時30分~19時 ふるさと森林公園 森の音楽会
山陰のミュージシャンによるクラシックとジャズのコンサートです。

場所：ふるさと森林公園「森の教会」参加無料ですが、緑化募金に協力をお願いします。

軽食やジュース・ビール等もあります。(有料)

11月14日(日)10時~12時 松江市自然観察会(場所 橋南地区内で検討中)
樹木マップ作製実行委員会を中心に企画する自然観察会です。

参加者募集中：9時50分集合です。前日正午までに、事前申し込みが必要です。雨天時は、傘等雨具を持参ください。参加無料です。

11月21日(日)10時~15時 里山自然塾「ドングリを料理しよう！」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

あくの無い種類のドングリを使って、煎りドングリ、ドングリ豆腐、ドングリパン、ドングリ
ピザを作り試食します。持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

11月27日(土)~28日(日)「森の聞き書き塾」 ふるさと森林公園学習展示館

この塾への参加から、1人が1人の奥出雲町での聞き取り活動に協力いただきます。その成果
は、本にまとめ、来年度刊行します。

メイン講師：渋澤寿一 農学博士。環境NPOとして日本やアジアの森づくり、地域づくり、人づ
くりの活動中。全国の高校生が森の名手・名人の話に耳を傾ける「森の聞き書き甲子園」(林野庁・
文科省主催)を運営し、これまで800人の高校生を送り出してきた。詳細は「森の聞き書き甲
子園」で検索ください。

サブ講師：清藤奈津子 おとなのための「山里の聞き書き」塾を展開。詳細は「山里文化研究所」
で検索ください。

参加費：受講料 一般10,000円 学生5,000円 宿泊・食費(4食)5,000円

12月4日(土)~5日(日)「森林塾」 ふるさと森林公園学習展示館と園内林地

森林ボランティアのための森林調査の基本から分析方法、施業方針の策定の仕方、さらにチェ
ンソー等を使った伐木・造材、搬出に至るまでの知識と技術を、森林ボランティア指導に関して、
全国で5本の指に入ると言われるプロ中のプロに学ぶ研修会です。

講師：鈴木章（NPO 法人杣の杜学舎代表）

稲垣久義（足助きこり塾代表、森づくり工房 kikkoring）

佐藤大輔（NPO 法人夕立山森林塾代表、佐藤林業）

参加費：受講料 10,000 円 宿泊・食費（4食）5,000 円

12月12日（日）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第5回 親子のための自然観察会（自然とふれあう子どもを撮ろう！）

大人も参加できますが、あくまでも、子どもを対象とした自然観察会です。

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

12月19日（日）10時～15時 里山自然塾「里山素材のリースをつくろう！」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

里山にあるツル植物や木の実について学び、それらを使って美しい里山素材のリースを作ります。持ち物～弁当・飲み物 定員20名（申し込み順）



猛暑の中、ふるさと森林公園の早朝自然観察会には、16名の方が参加され、自然とのふれあいの時を楽しまれました。私もリフレッシュして、会報を仕上げました。7.24.野田真幹

もりふれ倶楽部会報 NO.27

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352 ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586 [メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>